

2024年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名		こどものつむぎ 1号（児童発達支援）				公表日		2025年 3月 11日	
						利用児童数 20名		回収数 15名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	つむぎ内は、こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	0	少し狭い。 広いとは言えないが、上手く区画されて いてよい。	同じ空間を使用するご利用児様の人数や 組み合わせなどを工夫しながら安全に 活動が行えるよう日々検討・改善をします。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で 心地よく子ども達の活用に合った環境になっていますか。	11	4	0	0	階段が少し怖い。 子どもがまだ小さく手すりが届かなかっ たり柵をつかむしかないところがある。 傘をさしながら介助して上がるので冬場 が心配 階段の柵の木が子どもが手をかける度 にとげがささらないか心配。 外階段に子どもが使いやすい手すりがあ ると安心。	外階段に関しては、荒天時は別階段の ご案内をさせていただくとともに、手す りについては、修繕できる箇所から随時 修繕を行っていきます。	
適切 な支 援の 提供	4	つむぎの職員の支援は、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援ができていますか。	15						
	5	事業所が公表している支援プログラム（HPに掲載されています）は、事 業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1			
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	15						
	7	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	15						
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	14			1			
	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	8		3	4	特に必要ないと感じる。		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	14	1					
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15						
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	8		2	4	無回答 1 まだ経験がない		
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	15						
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1	まだ経験がない		
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15						
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	5	5	まだ経験がない		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	10	1		4		つむぎ内で解決できそうなことに関し ては、都度対応させていただきます。 内容によっては必要な関係者に つなげていけるよう、情報提供 随時対応させていただきます。	

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		LINEで日程調整できるので便利。 頼めばすぐに対応してもらえる	必要に応じて、電話以外の連絡手段が必要な場合はご案内いたしますので気軽にお申し付けください。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		6	HPやSNSでのご案内や宣伝をより積極的にできるようにします。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2		8	マニュアルはありますし、訓練も随時行っておりますが周知が上手くできていませんでしたので、今後は積極的にお知らせできたらと思います。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	1	9	
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			6	・入口のドアが開いていることがあるが、介助しながら階段を上りきった後は左側に避けなければならず雨の日は特に危ない。 ・目を離さないようにしてもらっている。
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			7	まだ経験がない2 お怪我がなく利用時間を終えることが目標ではありますが、お怪我につながってしまった場合は速やかな連絡・様子伺いなどを大切に行っていきたいと思っています。
満足度	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				毎週楽しみにしている。
	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				とても楽しみにしている。3
	28	事業所の支援に満足していますか。	14				無回答 1

2024年度事業所における自己評価結果

公表

事業所名		公表日 2025年3月11日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		同じ空間に3人以上重なってしまった場合、スペースの狭さや使いにくさを感じることもある。→タイミング等で気を付ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	事業所等の設備について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子どもたちの活動に合った環境になっている。	4	2	日々を点検を行い、ドアや角にクッションを用いるなどして改善できるところから行っている。	悪天候時の階段昇降が注意が必要と感じる。(手すり・屋根・階段先の玄関扉)
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	5	職員の意見等を把握する機会を設け業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しその内容を業務改善につなげているか。	6		職種それぞれの目線で意見を出し改善につなげていけるようにしている。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		新人研修や伝達研修など。	
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	11	個々のこどもに対して標準化されたアセスメントツールを用いて適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者様への聞き取りと、つむぎでのお子さんの様子を総合して判断し計画作成をしている。	
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフ全員が確認し、案を出し合っている。	
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	多職種間で相談しあった結果、基本的にはその日の担当が最終決定はする。	
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	場面により小集団にはなるが、組み合わせる場合もあり。	時間内すべてを集団活動とはしていない。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、スタッフ間の役割分担を行い、支援後は定期的な振り返りを行い、気付いた点を共有している。	6			サブスタッフと入る場合は、役割分担がもう少し密にできるとよいと感じる。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	22	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			医療（主治医）との連携はとった経験がない。
	23	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			

関係機関や保護者との連携	24	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行支援会議に参加させていただき、つむぎでの様子を共有できるようにしています。	
	25	(25～27は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	26	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	27	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	28	(28は、事業所のみ回答)			若草学園での外部研修やTEACH研などに参加したり情報共有を行っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		機会がない。
保護者への説明等	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		研修の機会はもてていないが、イベント・研修案内は行っている
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		丁寧に分かりやすく説明できるよう心掛けてはいる。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			年齢が小さいほど難しいこともあるが、スタッフの聞き方等のスキルはのばしていきたい。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	進路相談等は気に掛けるようにしている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	『DANCEWITHHIDEMI』というイベントを通して保護者様同士の繋がりの場ともなっている。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		発信が足りていないかもしれない。もう少しSNS等で活動報告をしていく。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
非常時等の対応	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		これからもう少しできるといいのかな
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		マニュアル等の周知はまだ不十分。訓練の機会は多くはないため訓練日に利用がなくても、訓練をしていることがわかるものを作成し掲示・周知していく。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用中の症状変化に対して対応ができるよう、看護師とも共有しながら行っている。	
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		現在対象となる利用児さんがいないため、今後対応できる準備は行っていく。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			修繕に時間を要したことがあった。
非常時等の対応	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		周知がまだ不十分。

	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		現在対象となる利用児さんがいないため、今後対応できる準備は行っていく。

2024年度 事業所における自己評価総括表（こどものつむぎ1号・児童発達支援）

公表

○事業所名	こどものつむぎ1号			
○保護者評価実施期間	2024/12/1～12/29			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2024/12/1～12/29			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種のスタッフが従事しており、支援の偏りが無い。	・各資格のもつ様々な視点で意見を出し合っています。 ・利用に必要な課題や道具は協力して作成しています。 ・積極的な研修参加をしています。	・限られた利用時間なので、療育で出来たことを日々の生活にも活かしていけるような提案などを今後も行っていきます。
2	ご利用児様の様子に合わせた目標設定や計画書作成ができています。	・保護者様から見たお子さんの姿とスタッフから見たお子さんの姿を総合し、療育の目標を設定しています。	・家や園などの生活の場面でできることと、つむぎの療育時間内にできることは上手く分担ができてくるともっと充実するのではないかと感じました。
3	関係機関との連携を密に行っている。	・支援会議、見学等を通してお子さん1人1人を知る機会をたくさん作っていくように心がけました。	・何かあったら相談し合える間柄でいられるよう関係機関の方々と日頃から連絡を密にとっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内外の環境面の改善	・事業所内：利用児が重なると、スペースが狭く感じる場合があります。 ・事業所外：荒天時の外階段が危ないと感じます。	事業所内：利用時間の調整をしたり、一緒にできる場面は共有するなど、お子さんの相性も見ながらスペースの使用の仕方を考えていきます。 事業所外：修繕が完了するまでは、別ルートからの来所をご案内し、安全に移動ができるよう対応します。
2	災害等の避難訓練後の周知	・訓練の機会があるが、全ご利用児対象で行えていなかったため、弊社が避難訓練を実施したのか／実施後の報告の周知が十分ではありませんでした。	・災害時のマニュアル、避難経路の周知を行います。 ・全利用児が訓練に参加できなくても、対策は講じているということを書類にて報告し知っていただくようにします。
3	地域との連携	・いつくるかわからない災害に関して、弊社と地域との関係性がまだ築ききれていないと感じます。	・地域でのイベントに参加をしていき、まずは顔見知りの関係になれるよう心がけます。